



防ごう、赤かび病！

(たった1粒の混入で規格外となります！)

- ・3月10日に、大分県は麦類赤かび病の防除対策に係る病害虫技術情報第11号を発表しました。
- ・本年度は暖冬で推移しており、今後の気象予報も高温多雨傾向であることから平年より多発する可能性があります。防除適期を逃さず、確実に防止しましょう！

1. 赤かび病防除 ～出てしまっちは手遅れです！～

1) 防除回数：2回 1回だけでは、確実な防除が困難です！

(1) 防除適期の基準

- 1回目 開花最盛期
- 2回目 開花最盛期から10日後

(2) 本年産の出穂期は平年より11～16日程度早くなる見込みです。管内でも早播き圃場で穂が出はじめたとの情報もあります。そのため、第1回防除の時期は3月下旬頃となる見込みです。

(3) 防除適期の期間が非常に短いので、気象情報に注意し、雨が続く場合は合間を見てください。

参考 麦種別の、赤かび病の防除適期

麦種	出穂期	防除適期と出穂期後の日数																				
		+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+10	+11	+12	+13	+14	+15	+16	+17	+18	+19	+20	
裸麦						1回目防除									2回目防除							
小麦						1回目防除												2回目防除				

※出穂期＝圃場全体の麦で、40～50%穂が出た時期（ほぼ全て出た時期は「穂揃期」です！）

2) 防除薬剤 1回目と2回目の薬剤は、別のものを使うようにしましょう！

【散布】

作物名	農薬の名称	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数
小麦	トップジンMソル	1000～1500倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)
	トップジンM水和剤				
	シルバキュアフロアブル	2000倍		収穫7日前まで	2回以内
麦類 (小麦を除く)	トップジンM水和剤	1000～1500倍	25L/10a	収穫30日前まで	3回以内 (出穂期以降は1回以内)
麦類 (大麦を除く)	ワークアップフロアブル	500倍		収穫7日前まで	3回以内
大麦	シルバキュアフロアブル	2000倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	2回以内
	ワークアップフロアブル	500倍	25L/10a	収穫7日前まで	3回以内

※注意 周辺作物に薬剤がかからないよう、防除する際の風向き・風の強さに注意しましょう！

2. 発生してしまったら刈分けを ～混入防止が最優先です！～

